



平成 16 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社 共成レンテム
代表者名 代表取締役社長 黒川 和雄
(コード番号 9680東証第2部)
問合せ先 常務取締役管理本部長
加藤 孝
(TEL. 0155-33-1380)

平成 17 年 3 月期の中間、通期業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 9 月 8 日に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 9 月 30 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	7,400	440	72
今 回 修 正 予 想 (B)	7,340	300	15
増 減 額 (B-A)	△ 60	△ 140	△ 57
増 減 率 (%)	△ 0.8	△ 31.8	△ 79.2
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期中間)	7,376	432	214

2. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 3 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	16,000	1,100	526
今 回 修 正 予 想 (B)	15,500	1,050	350
増 減 額 (B-A)	△500	△50	△176
増 減 率 (%)	△3.1	△4.5	△33.5
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期)	15,452	1,026	512

3. 修正の理由

(中間業績予想の修正)

当社の主力マーケットである北海道の今年度上期（平成 16 年 4 月～平成 16 年 9 月）の公共工事発注状況は対前年同期比△7.1%となり、建機レンタル業者間の熾烈な受注競争とこれに伴う単価下落から、厳しい営業環境となりましたが、実用新案登録した新アイテム等をアピールして同業他社との差別化を進め、攻めの積極的営業に徹した結果、売上高はほぼ目標額となる 7,340 百万円の見込となりました。

経常利益については、積極的投資による賃貸料原価増が主要因となって売上原価が増加した結果、300 百万円を見込んでおります。

当期純利益については以上の状況に加え、当社が加入していた全国建設機械器具リース業厚生年金基金からの脱退（平成 16 年 9 月 6 日付）に際し発生した 309 百万円の特別掛金と、「固定資産の減損会計」の事前適用に伴う 28 百万円の減損額をそれぞれ特別損失に計上すると同時に、保有有価証券の一部を売却することによる 129 百万円の特別利益計上により、15 百万円を見込んでおります。

(通期業績予想の修正)

通期業績予想につきましては主に、中間期の修正に準じ修正するものでありますが、下期（平成 16 年 10 月～平成 17 年 3 月）は、10～12 月に業務の最盛期を迎えることから、売上高については 15,500 百万円を、経常利益については、原価、販売管理費の節減強化に努め 1,050 百万円を、当期純利益は 350 百万円をそれぞれ見込んでおります。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なることがあります。

以 上